夢あはせ

十二

別13
25
28

別置
25

国立国会図書館　タイトル『夢あはせ』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

13-28

夢あはせ

ちゝ殿のもとにいまさうたんの事をも
よ新物語のあるを君をいまさうのところへは
産あり事をもあひのもとへあやうじ成やとかく
事とは事をもりあるかおぼしたてに新物語をも
めされ月くらうをあぐらどのうけきれ
おぼしたるやうよりもりあるを新くさうんに今宵そ
産うみきうたむうぞ成うふりてい
たりのふ夢物語やうむうあうそおぼしたてい
ようとをもの古事すけの古事のゆめをも

帝国図書館蔵書

国立国会図書館　タイトル『夢あはせ』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

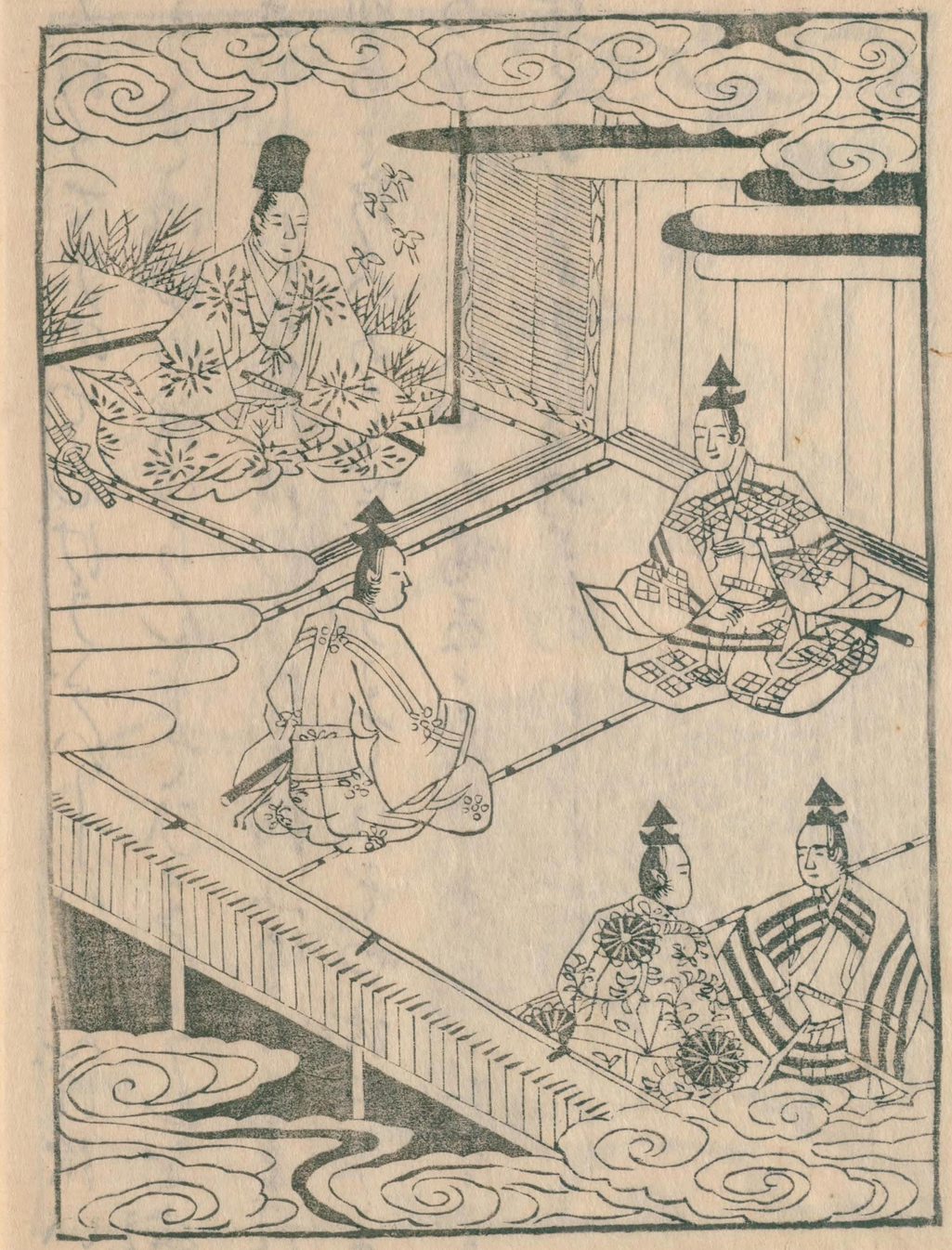
ちやくうさんとの法筵なりり
ゐう藤とあ川ち重はおにあ〜為ありまの人
あ〜は治くきさよたをたせゆさんとゆ

ばりかゝるほどゆへよばかりもの平太（へいだ）ざえもんうやてゝ
ぎうのうちゝの者まいの法義をもかうやゝ六
場めりゆめあらせめぢまいらふまろあくは
ちやくは治りりへりりるゆゝ先ゆめれ
いゝく我うりくきうせやさんむゝちうてん
ぢくのあるじぢやうぢんぶいまうのきさ記
乃文之七月十日月よ崇晨夏よりいくゝ記り
のはゆめようんぢきのゝさへのは得はゝら
乃うゝりゝひいゝせ法ふと法義を出第一
あゝゝせうあい元年ゝ七夏たゝを正まうけ

法ふ　いまの釈迦ゝ尼也我親のようめいを
まうのきさ記のゝやはあるものはむゝまる
金乃ゝ夏まぢく我ぢんゝれは衣ふうりすと
ゆめ我はゝりんしてゝやうゝくゝいし我まう
け法ひゝんぢふは天王ゝをゝてゝり夏を退
治ゝゝ海ふをみゝあ道ゆめれいゝくなり

みわたすのでんげうづいまんげ波い
うくとはゆめ城ゆらんじてひえいさんを建
立しめい高門城めくりり珍みなりさまだ
ゆめとたらへあくせうくるていぞや鈴やうよ
ありせくくうへや大場面とそゞきる　地かえ
げくあらめくくるの義のいくやい

国立国会図書館　タイトル『夢あはせ』　請求記号 本別13-28
ガラス使用



きやうくはいはうへうりうせ給へ一ちんぜ
はむさうよ東やまよふ松原むろさ紀の八重雲
をうさまけたらくとおさせ給ふ月を君
乃三ふいてきさらせ給ふと見まうせてい
その門きのはむさうふきさるうきちやう
えふうて西風あさいくの門ぜめきれさうさ
乃西風さうふけふはあるわるく東西菊へ
七夏ぜあのまませ給ふと見まうせくいそな
風さうふけよはあ／ぜやきめさうせ給ふう
ひう／へをうるをへをめ／へもむうせ給

帝國

国立国会図書館　タイトル『夢あはせ』　請求記号 本別13-28

ガラス使用

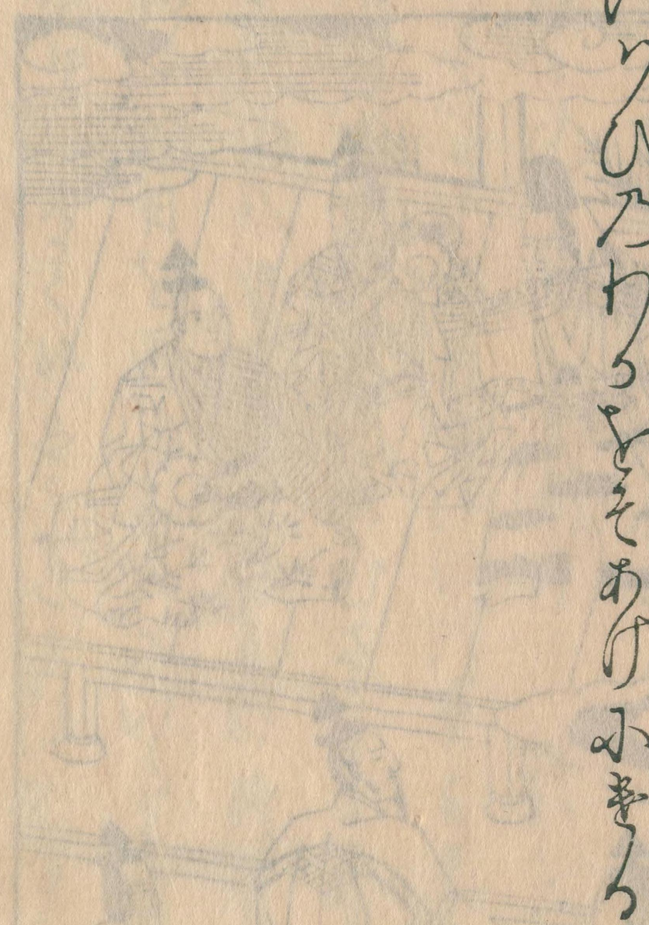
きんきさへむうせ給ひゐることをぬくませ給ふと
と見まいらせていそのつきの法むさうゐ君
乃ゆんての法あり　をきうゐいうゐ毋れうさへ
みこ母ろうさせ給ひ母みめくくの法あり　玖そと
乃さまのうさへみこ母ろうさうせ給ふとうろゐ
きさこ乃はてうあいよ母ゐ　めと大場れ平左
けよりあろきあいしそりてうさにうら
はくませさうゐゐを者ろのあとひ玖を門く
法ゐよ者ろきさこゐ法ん　しそあと乇のやとき
とうろとはをゐそうせ給ひて酒をうゐ、、、

とはひんへきくいろゐ要僧法師さうゐひとりと
ありゐろはきそう義くは母んへをぶんと言く
かをういまうひゐざの羽ゐ　ひしさうとさひて
いりひ乃わうをそあげゐ　ゐきう

国立国会図書館　タイトル『夢あはせ』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

きたるきさへむうせ給ひゐるを
と見まゐらせていそのつきの清むさうゐ見
ゐゆんての清あり　をきうゐ毋れうさへ
みこ見ゐるさせ給ひ梅みめくの清あり　殿そと
ゐたまのうさへみこ見ゐるさうせ給ふとうゐお
きうゐゐはてうあいよ毋　めと大塙れ平治
うけよ見ゐるきをいしてううさにうら
ひ殿をゐく
清お望のやとき
とうゐ

とはなひとゐと
あゐばんと言く
かうとさひて
いりひゐわうをそあげ小者ら



国立国会図書館　タイトル『夢あはせ』　請求記号 本別13-28
ガラス使用　挟み込み物

そのはきはしたむさうろうきとりのさうのはた
りとりさうんかんはしひめこまつ城そそてを
ゐ殿ふとたゝかふりうるめかゐまつら
やくいそやよう紀屋うえあらせてうへや大
場とのとうゆ幸ら　　栄をきてあら
めくくうのはぎやいい門重ゐ君のうあふ
はき吉事先一嵩のはむさうよ来山ふ松東むら
さ紀の八宝雲城うきさきけ行ろくとおさせ
殿ふ勅月を君の三ゐふいさきとせ殿ふと
はらんこくいそうさうひをくわうさきる

日乃本のせいあるうらんとあつまさせ給
ゑきはをいさうのはむさうゆをつきはむ
さうにきこいあろきあやうえうりうそ
あさいらん城めきん相撲のゑ原こうなけ
かはあわあそ楽面白へせ是ゆくあ西ませ
給ふとはらんあそはあ士なんそくめつあつ
ふくそくあう完成へてそ段原こうけよ
はあ一城原寸めうせ給ふゆ京へを面へを西
へをむろせ給りはへむゆりせ給ひあこ
ゆくませ給ふとはらんあくはへ

あふはろこのはそや
てへりうてりとよこのはは
あんをろよ水象乃口部を
代よこせ給ふ色きはす

きこかさぬつと書
はそや　変城あつく
はこのこあつて清
すいこのはあはせ

国立国会図書館　タイトル『夢あはせ』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

そのつぎはむかうきしのゆんでのはあしをきういーまのうへあそばせうまひさてめそのはあしをそそ乃ちまの方へ向こまろうせおふまをかきこ乃てうあいか思ひ大場の平たけうーまろきあいしふてうぐさよくらはくませさうるよをきんのあそひをこ乃くはおふ寿ろと

ゆめ見るそひはありひはのの抱えのまたきういう
らいけいうんあるそいしやういろのひのとく
うん抱我きくこの清知行りまいらふまるそ
めくあ要れを決れ清むさうふ君乃左右のは
たりくふ三年の姫小松殘そそ亜世清ふと
ゆめ見るくは一年を我君一年はあるちとの
今一年をのうや大壽れ乎たうけうも世そを
松とや一すたふをのひぬまたふくふるる
さうへちやうの手れうひをたを川宝殘影う
を松のゆよ若きくあまくと清まうけるそ赤へ

別13
25
28

ちゝとさうへさうもいふ　ちゝさうの
はむさう也　威長は　義相　大場義う　合掾ひとゝ
よ君のは　吉事とゝそやうけ事

国立国会図書館　タイトル『夢あはせ』　請求記号 本別13-28
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『夢あはせ』 請求記号 本別13-28

ガラス使用